

平成27年幌加内町予算審査特別委員会 第2日目

平成27年3月10日（火曜日）

○出席委員（9名）

委員長	1番	齋藤雅文君	副委員長	4番	中村雅義君
	2番	小関和明君		3番	中川秀雄君
	5番	田丸利博君		6番	春名久士君
	7番	市村裕一君		8番	篠原正治君
	9番	小川雅昭君			

○欠席議員（0名）

○出席説明員

町	長	守田秀生君	
副町	長	南谷幸夫君	
教	育	長	佐藤勝君
総務課	長	小野田倫久君	
産業課	長	大野克彦君	
建設課	長	竹谷浩昌君	
住民課	長	村上悟君	
地域振興室	長	清原吉典君	
農業委員会事務局	長	尾島昭君	
保健福祉課	長補佐	木下八代恵君	
教育次	長	蔵前裕幸君	

○出席事務局職員

事務局	長	村上雅之君
書記	補	猪谷祐介君

◎一般会計 歳入の審議

出席者：町長・副町長・教育長・総務課長・産業課長・建設課長・住民課長・地域振興室長
農業委員会事務局長・保健福祉課長補佐・教育次長

○委員長(齋藤雅文君) ただいまの出席委員数は9名であります。定足数に達しておりますので、直ちに予算審査特別委員会を開きます。

休憩を閉じまして、一般会計歳入の審査に入ります。説明をお願いいたします。

○総務課長(小野田倫久君) 総務課長。

○委員長(齋藤雅文君) 総務課長。

○総務課長(小野田倫久君) ご説明申し上げます。

事項別明細書歳入10ページ、11ページをお開き願います。

1款1項1目 町税の個人、本年度8653万円、前年比419万2000円の増でございます。平成26年度の賦課状況調べから算出をしていますが、今回は戸別所得補償による課税標準額が増加したことによる増が要因でございます。

2目 法人、本年度789万6000円、前年比118万3000円の増でございます。平成26年度の決算見込額を算出根拠としておりますけれども、今回は一部法人の業績向上、法人の2増1減がありまして、実質、1増でございます。

2項1目 固定資産税、本年度6870万6000円、前年比1092万3000円の増でございます。NTT、ソフトバンク、三津橋産業など大規模設備投資があったため、償却資産の課税標準額の増加が大きな要因でございます。

2目 国有資産等所在市町村交付金、本年度441万2000円、前年比4万6000円の増でございます。森林管理局の森林評価の伸びに伴う増でございます。

3項1目 軽自動車税、本年度403万3000円、前年比43万5000円の増でございます。一部、軽自動車税の税額の増、課税台数の増によるものでございます。

4項1目 たばこ税、本年度708万3000円、前年比54万8000円の減でございます。平成26年度の実績見込み等で、製造たばこで11万4000本の減、旧3級品で2万1000本の減と、消費の減が要因でございます。

5項1目 入湯税、本年度147万9000円、前年比6万6000円の減でございます。平成26年度の前年比見込み人数が約5%の減少でございますので、今回、減となったところでございます。

2款1項1目 地方揮発油譲与税、本年度2200万円、前年比300万円の増でございます。

2項1目 自動車重量譲与税、本年度5000万円、前年比300万円の減でございます。ともに地方財政計画の率を算出して、今回の予算額とさせていただいています。揮発油譲与税につきましては300万円の増、自動車重量譲与税につきましては、300万円の減としているところでございます。

3款1項1目 利子割交付金、本年度30万円、前年同額でございます。

3款の利子割交付金、4款の配当割交付金、5款の株式譲渡所得割交付金、6款の地方消費税交付金までにつきましては、特に説明はございません。

7 款 1 項 1 目 自動車取得税交付金、本年度 908 万 8000 円、前年比 100 万円の増でございます。予算の作成時に、昨年の 10 月ぐらいに、前年同期の計画販売数の比率が新車で 104.9%、中古で 97.5% ございまして、販売台数が増加していることから、今回 100 万円を増加させていただいています。

8 款 1 項 1 目 地方特例交付金、本年度 6 万円、前年比 4 万 2000 円の増でございます。

9 款 1 項 1 目 地方交付税、本年度 20 億 3100 万円、前年比 1 億 8900 万円の減でございます。国の地方財政計画で、地方交付税の総額は前年比 0.6% の減としていました。実質的な交付税の伸び率は、前年対比で 0.7% の減と関係資料から推測させていただいています。本年度は骨格予算編成のため、歳入歳出のバランスを調整し、前年比マイナス 1 億 8900 万円、8.5% の減とさせていただいています。

10 款 1 項 1 目 交通安全対策特別交付金、本年度 50 万円、前年同額です。

11 款 1 項 1 目 分担金、本年度 230 万 1000 円、前年比 3995 万 5000 円の減でございます。道営土地改良事業の 4 事業の分担金で、事業の不確定な 2 事業が当初予算では計上していませんので、その分が減となっています。

2 項 1 目 負担金、本年度 410 万 8000 円、前年比 90 万 1000 円の増でございます。保育所入所者負担金で、入所者の増加によることでございます。

12 款 1 項 1 目 総務使用料から 2 目 民生使用料につきましては、特に説明はありません。

3 目 衛生使用料、本年度 2855 万 9000 円、前年比 109 万 5000 円の減でございます。歯科診療所、朱鞠内診療所、添牛内診療所の診療報酬の減に伴う減でございます。

4 目 農業使用料、5 目 商工使用料、6 目 土木使用料、7 目 教育使用料については特に説明はございません。

2 項 1 目 総務手数料、2 目 衛生手数料、3 目 農業手数料、4 目 教育手数料についても特に説明はございません。

13 款 1 項 1 目 民生費国庫負担金、本年度 4112 万 6000 円、前年比 169 万 9000 円の減でございます。

2 項 1 目 民生費国庫補助金、2 目 衛生費国庫補助金までは特に説明はございません。

3 目 土木費国庫補助金、本年度 8487 万 1000 円、前年比 5813 万 8000 円の増でございます。社会資本整備総合交付金で、わかば団地建設による増でございます。

4 目 教育費国庫補助金については特に説明はございません。

3 項 1 目 総務費委託金、2 目 民生費委託金につきましては、特に説明はございません。

14 款 1 項 1 目 民生費道負担金、ここについては特に説明はございません。

2 項 1 目 民生費道補助金、本年度 649 万 6000 円、前年比 617 万 5000 円の減でございます。子育て支援対策事業費補助金、前年比 611 万 6000 円の減が主なものとなっています。

2 目 衛生費道補助金については、特に説明はございません。

3 目 農林水産業費道補助金、本年度 8456 万 6000 円、前年比 1449 万 7000 円の増となっています。多目的機能支払交付金 5690 万 9000 円による増が主な要因でございます。

4 目 総務費道補助金、本年度 240 万円、皆増でございます。要因は地域づくり総合交付金の増額によるものでございます。

5 目 教育費道補助金、本年度 56 万 9000 円、皆増でございます。土曜日の教育支援事業の補助金

等の増額によるものでございます。

3項1目 総務費委託金、本年度733万3000円、前年比284万6000円の増でございます。平成27年度の国勢調査交付金の増額によるものでございます。

2目 農林水産業費委託金、3目 土木費委託金については、特に説明はございません。

15款1項1目 財産貸付収入、2目 利子及び配当金については、特に説明はございません。

2項1目 不動産売払収入、2目 物品売払収入、3目 生産物売払収入につきましても特に説明はございません。

16款1項1目 一般寄附金、2目 用途指定寄附金についても特に説明はございません。

17款1項1目 基金繰入金、本年度1935万9000円、前年比104万円の減額でございます。そば産地活性化振興基金からの繰り入れが昨年ありましたが、その165万円の減によるものでございます。

18款1項1目 繰越金については特に説明はございません。

19款1項1目 延滞金から4項2目 過年度収入までは特に説明はございません。

3目 雑入、本年度7906万9000円、前年比329万円の減でございます。通所介護給付金121万5000円が主な要因でございます。

20款 町債ですが、目の説明は割愛させていただき、前年比1億310万円の減額、24.7%の減でございます。主な要因は、深川地区の消防組合負担金債1億3140万円の減、この内訳としましては、幌加内ポンプ車の導入と消防救急デジタル無線の整備の減によるものでございます。その他、総務債ではテレビ中継局予備電源設備事業債400万円の皆減、衛生費では、町立歯科診療所の診療代購入事業債480万円の皆減です。農林水産業債では道営農業農村整備事業4本で1130万円の減、土木債では公営住宅わかば団地建設事業債で1億3860万円の皆増、除雪機の購入事業債270万円の減、公営住宅道路新設事業が昨年ありましたが、その分が3890万円の皆減となって変動しています。また過疎地域自立促進特別対策事業、通称：過疎債ソフト事業と言っていますが、これにつきましては、民間賃貸住宅の建設事業のほか、5事業、企業立地促進事業債、集落整備、地籍整備事業、地域情報通信運営事業、生活環境安全対策事業、子育て支援対策事業債の総額で3960万円を当初予算に計上して制度の有効活用を図ることとしています。

以上で歳入の説明を終わります。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。これから質疑に入ります。

それでは事項別明細書歳入10ページか質疑を受けます。

10ページ、11ページについて質疑ありませんか。

○3番（中川秀雄君） 委員長、3番。

○委員長（齋藤雅文君） 3番、中川委員。

○3番（中川秀雄君） 1款1項1目 町税の個人

26年度の課税対象ベースが濃くなったという説明でありましたけれども、昨年場合は主に、農業の関係ですけれども、例えば米価の下落の問題やそばの収量減の関係などで、かなり課税ベースとしては下がっているという話も聞いています。ここでは前年から比較して多く見積もっているわけですが、その根拠はなんでしょうか。

○総務課長（小野田倫久君） 総務課長。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（小野田倫久君） お答えいたします。

今回の要因としましては、作物の収穫が良くなかったという、そういうことを踏まえての話になるかと思いますが、一応農協等も情報を出していただいて、それによるところで、予算を策定していたのですが、今回、戸別所得補償についてもある程度のもが出てきているという、それを踏まえて相殺したところ、金額的には419万2000円ですから、伸びとしてはそんなに多くはないのですが、取れなかった分に対して、補填されているという見方をさせていただいているところがございます。実際は蓋を開けてみないとわからない部分がございますが、伸びてもこのくらいだろうというところでの落としどころだったのかと思います。

○委員長（齋藤雅文君） 他に10ページ、11ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 12ページ、13ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 14ページ、15ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 16ページ、17ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 18ページ、19ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 20ページ、21ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 22ページ、23ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 24ページ、25ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 26ページ、27ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 28ページ、29ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 30ページ、31ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 32ページ、33ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 34ページ、35ページについて質疑ありませんか。

○5番（田丸利博君） 委員長、5番。

○委員長（齋藤雅文君） 5番、田丸委員。

○5番（田丸利博君） 12款2項3目 1節 幌加内町歯科診療所使用料

本年度1425万円は、年間の固定の使用料なのか、売上げに応じてなのか、教えていただきたい
思います。

○保健福祉課長補佐（木下八恵代） 保健福祉課長補佐。

○委員長（齋藤雅文君） 保健福祉課長補佐。

○保健福祉課長補佐（木下八恵代） 歯科診療所の使用料ですが、これは年間の診療報酬です。そ
れが、町に入ってきて、そして先生のところに行くようになっていきます。

○委員長（齋藤雅文君） 他に34ページ、35ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 36ページ、37ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 38ページ、39ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 40ページ、41ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 42ページ、43ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 44ページ、45ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 46ページ、47ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 48ページ、49ページについて質疑ありませんか。

○8番（篠原正治君） 委員長、8番。

○委員長（齋藤雅文君） 8番、篠原委員。

○8番（篠原正治君） 14款2項5目 教育費道補助金

土曜日の教育支援事業というのは、始めて聞く言葉だと思いますが、どのような内容でこの事業
を実施することになりますか。

○教育次長（蔵前裕幸君） 教育次長。

○委員長（齋藤雅文君） 教育次長

○教育次長（蔵前裕幸君） 平成26年度でも、6月の補正予算にて計上させていただいた中身で
ございますが、事業内容としましては、土曜日における社会教育事業にかかる対象経費について、
積み上げて補助率を掛けて算定していくところであります。

- 委員長（齋藤雅文君） 他に 48 ページ、49 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 50 ページ、51 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 52 ページ、53 ページについて質疑ありませんか。
- 8 番（篠原正治君） 委員長、8 番。
- 委員長（齋藤雅文君） 8 番、篠原委員。
- 8 番（篠原正治君） 各基金がありますけれども、全て当初から金利が決まったものなのか、それとも、中には利息変動型の積立金が存在するのでしょうか。
- 総務課長（小野田倫久君） 総務課長。
- 委員長（齋藤雅文君） 総務課長。
- 総務課長（小野田倫久君） 基金につきましては、譲渡性のある基金ということで、証書で積むもの、それから通帳で積むものと 2 種類あります。それらについては、当初から利率については、基本的には決まっている、変動しないタイプで借りています。ただし、証書のタイプは途中で下ろしたいと思っても下ろせません。満期が来るまで下ろせません。通帳の場合は途中で下ろすことは可能ですが、そうした場合には、日にちが変わりますので、当初予定していた利息から数字が変わっていくということになります。基本的には借りて、積んで、一回下りてくるまでの日にちを計算して計上させていただいていますが、もし先に崩さなければいけない場合には数字が変わってくるという状況になります。
- 委員長（齋藤雅文君） 他に 52 ページ、53 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 54 ページ、55 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 56 ページ、57 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 58 ページ、59 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 60 ページ、61 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 62 ページ、63 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 64 ページ、65 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 66 ページ、67 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 68 ページ、69 ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 70ページ、71ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 歳入全般について質疑ありませんか。

○8番(篠原正治君) 委員長、8番。

○委員長(齋藤雅文君) 8番、篠原委員。

○8番(篠原正治君) 以前、公社に貸し付けて、周辺の農場を観光農場だという位置づけのもとに、以前は50万円の売上げということであったと思いますが、今はその形態はどのようなようになっていますか。

○産業課長(大野克彦君) 産業課長。

○委員長(齋藤雅文君) 産業課長。

○産業課長(大野克彦君) 観光農場ということで、昨年まで50万円の売上げということで計上していました。それと合わせて、作業委託ということで50万円を支出で組んでいましたが、それにつきましては、従前でありましたら作業委託、それから原そばの売払いで、収支の均衡がとれていたのですが、最近につきましては、原そばが低くなったということで、数年間赤字が続いたことがありましたので、公社自体に作業委託をするということは、今年度から改めまして、新年度からにつきましては、一般農家の方に貸付をするということで、進めています。一般農家に貸付されますと、経営所得安定対策の対象になりますので、その辺のところは、収支が黒字になるだろうということで進める方向でございます。

○委員長(齋藤雅文君) 他に歳入全般について質疑ありませんか。

○議長(小川雅昭君) 議長。

○委員長(齋藤雅文君) 議長。

○議長(小川雅昭君) 一般寄附金の中に入るとは思いますが、ふるさと納税について、26年度の見返り品もかなり考えられていましたが、現況はどのような状況になったのか、教えていただきたいと思えます。

○総務課長(小野田倫久君) 総務課長。

○委員長(齋藤雅文君) 総務課長。

○総務課長(小野田倫久君) ふるさと納税も始まって、4年ほど経ちますが、昨年、当町では3万円以上、納付していただいた方には、そばセットをお返しさせていただいているという形をとらせていただいています。平成26年11月11日現在で、ふるさと納税は63万5000円ほどございます。25年度は55万5000円の寄附がありましたけれども、それよりも10万円ほど増えているという状況でございます。他町みたいに突出した伸びを示している状況ではございませんけれども、地道に数字は毎年伸びている状況でございます。お返しの商品についても、新たなものがあれば、取り組んでいきたいとは思いますが、27年度も昨年と同様のものしかないので、それに対応して

いきたいと考えています。3箇所の売っているものを選択してもらいますので、その辺は昔よりはいいかなと思います。

○議長（小川雅昭君） 議長。

○委員長（齋藤雅文君） 議長。

○議長（小川雅昭君） この分け方として、ふるさと納税で入ってきたお金は一般寄附金の中に入っているのですか。

○総務課長（小野田倫久君） 総務課長。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（小野田倫久君） 一般寄附金の中に入っています。

○議長（小川雅昭君） 議長。

○委員長（齋藤雅文君） 議長。

○議長（小川雅昭君） やはりふるさと納税ということで、分けて記載してもらったほうが、我々も、町外の人をお願いするのに、明確になっていいのではないかと思います。

○総務課長（小野田倫久君） 総務課長。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（小野田倫久君） 検討させていただきます。

○委員長（齋藤雅文君） 他に歳入全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 質疑を終わります。

これを持って一般会計歳入の質疑を終わらせていただきます。暫時休憩いたします。

休憩 午前 9時38分（町長・副町長・住民課長以外：退席）

再開 午前 9時41分

◎国民健康保険特別会計の審議

出席者：町長・副町長・住民課長・住民課主幹（内山主幹）

○委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を解いて審査を続けます。

これから特別会計予算の審査を行います。議案第28号 平成27年度幌加内町国民健康保険特別会計予算の説明をお願いいたします。

- 住民課長（村上悟君） 住民課長。
- 委員長（齋藤雅文君） 住民課長。
- 住民課長（村上悟君） ご説明いたします。

事項別明細書歳出 28 ページ、29 ページをお開き願います。

1 款 1 項 1 目 一般管理費 227 万 4000 円、前年比 21 万 4000 円の増でございます。12 節 郵便料 13 万 1000 円、前年比 11 万 1000 円ほど増でございますが、これまで高齢者受給者証、あるいは国保被保険者証を送付するにあたり、普通郵便で送付していましたが、近年高齢化してきたということも原因の一つかと思いますが、届いていないというトラブルが発生しています。こういうことがありますので、本年から簡易書留で送付したいということで増加したものでございます。14 節 ライセンス使用料 1 万 8000 円でございますが、これは国保連合会からそれぞれ市町村で振り分けてくるライセンス使用料ですが、3 年に 1 回、国保連合会に入札を行っています。ここで 1 万 8000 円と載せてございますが、まだ入札前ということで確定額ではございません。確定されたときにその金額を国保連合会に支払うこととなります。

2 目 連合会負担金 51 万 5000 円、前年比 6000 円の増でございます。19 節 連合会負担金につきましては、保険者割額と被保険者割額をプラスしたのから、定減額を差し引き、計算されるものでございます。ただこれにつきましても、確定額ではございません。確定については、27 年 4 月を予定してございます。

2 項 1 目 賦課徴収費 10 万 1000 円、前年比 4 万円の減でございます。11 節 印刷費、前年比 3 万 8000 円の減ですが、本年度よりシステムを新しくしたことによりまして、汎用印刷が可能となりました。これによりまして、納税通知書、領収済書、納入通知書が印刷の必要なしということになったことによる減でございます。

3 項 1 目 運営協議会費 8 万円、前年比 1000 円の増でございます。

2 款 1 項 1 目 一般被保険者療養給付費 1 億 3950 万 2000 円、前年比 458 万円の増でございます。19 節 一般被保険者療養給付費については平成 24 年から 26 年の上期までの平均値で予測をしたところでございます。平成 26 年上期が前年比 105.7%と伸びたことにより、106.0%で調整をしたところでございます。

2 目 退職被保険者等療養給付費 145 万 9000 円、前年比 34 万 8000 円の増でございます。19 節 退職被保険者等療養給付費ですが、平成 26 年上期の給付状況により算出したところでございます。入院以外で平均額 1 万 1683 円であったものが、1 万 815 円と比較 868 円の減でございますが、件数が 4 件から 7 件に増加したことにより増となったものでございます。

3 目 一般被保険者療養費 59 万 9000 円、前年比 10 万 4000 円の減でございます。19 節 一般被保険者療養費ですが、平成 24 年から 26 年までの上期までの実績平均値より算出したところでございます。

4 目 退職被保険者等療養費 5 万円、前年同額でございます。19 節 退職者被保険者等療養費につきましては、平成 25 年及び 26 年の上期まで、これまで実績がございましたので、前年同額としたところでございます。

5 目 審査支払手数料 26 万 4000 円、前年比 3 万 2000 円の減でございます。12 節 審査支払手数料ですが、平成 26 年 4 月から 11 月までの実績により算出いたしました。この期間の件数は 486 件でございます。これを 500 件と見込んだところでございます。

2項1目 一般被保険者高額療養費 1814万4000円、前年比435万円の増でございます。19節一般被保険者高額療養費でございますが、平成24年から26年の上期までの実績平均により算出いたしました。平成26年上期で前年比1.4倍の伸びでございます。

2目 退職被保険者等高額療養費 10万8000円、5万7000円の減でございます。19節では平成23年から給付実績はございません。そこで一般被保険者の平均値で算出し、2件分を計上したところでございます。

3目 一般被保険者高額介護合算療養費 10万円、前年同額でございます。

4目 退職被保険者等高額介護合算療養費 2万円、前年同額でございます。

3項1目 一般被保険者移送費 1万円、前年同額でございます。これについては、著しく困難で病院に収納される者ということで、移送費は支給されるものでございますが、これについても実績がございません。

2目 退職被保険者等移送費 1万円、前年同額でございます。

4項1目 出産育児一時金 210万円、前年同額でございます。条例で定める額42万円の保険分を計上したところでございます。

2目 審査支払手数料 2万円、前年同額でございます。1件当たり210円の5件分を計上いたしました。

5項1目 葬祭費 10万円、前年同額です。条例で定める額1万円の10件分を計上したところでございます。

3款1項1目 後期高齢者支援金 2600万円、前年比150万円の減でございます。後期高齢者支援金でございますが、後期高齢者医療制度に対する0歳から74歳までの国保加入者からの支援金でございます。全体の後期高齢者会計のうち、5割が公費、1割が保険料、4割が支援金として負担されるものでございます。

2目 後期高齢者関係事務費拠出金 4000円、前年同額でございます。

4款1項1目 前期高齢者納付金 1万5000円、前年比3万5000円の減でございます。19節 前期高齢者納付金、この制度は前期高齢者医療制度、いわゆる財政調整にあたるものでございますが、前期高齢者65歳から74歳の方の偏在による保険者間の納付金を調整するための制度でございます。これは前期高齢者の加入割合には関係なく、全保険者が負担する分でございます。

2目 前期高齢者関係事務費拠出金 3000円、前年比1000円の減でございます。

5款1項1目 老人保健医療費拠出金 1000円、前年同額でございます。この保険制度については、平成19年に既に廃止されています。平成22年度末で会計も廃止され、新規分の拠出金は発生しないものでございますが、過誤請求の発生に備え、科目存置としたものでございます。

2目 老人保健事務費拠出金 2000円、前年同額でございます。平成24年度に請求される月補給のレセプトの費用でやっているため、平成26年度の老健拠出金を調整することまで阻止していたところでございますが、平成25年度以降に請求される月遅れレセプトの費用を措置するため、今回平成27年度まで、計上されたところでございます。これは平成26年3月28日施行の一部改正によるものでございます。

6款1項1目 介護納付金 940万円、前年比120万円の減額でございます。平成27年度の暫定数値で算定したところでございます。4月になりましたら社会保険診療報酬支払基金から金額の通知がされますので、それにより算定されることとなります。

7款1項1目 高額医療費共同事業医療費拠出金 510万7000円、前年比18万円の減でございます。この事業につきましては、小規模保険者において、予想外の高額な医療費が生じた場合に対処するための再保険的な事業でございます。これは1件80万円以上が対象となるものでございます。ここの数値につきましては、国保連から概算額の数値がございましたので、それにより計上したところでございます。

2目 保険財政共同安定化事業医療費拠出金 5275万円、前年比3190万7000円の増でございます。昨年まで、1件30万円以上80万円未満のものが対象でありましたが、本年より1円以上80万円未満となったことから、3100万円の増額となったところでございます。

3目 高額医療費共同事業事務費拠出金 1000円、4目 保険財政共同安定化事業事務費拠出金 1000円については、特に申し上げることはございません。

8款1項1目 特定健康診査等事業費 100万円、前年比5万2000円の減でございます。14節 ライセンス使用料では、特定健診等のデータ管理システムに係るライセンス使用料でございます。これまで一般会計で計上していましたが、経費負担の明確化を計る上で、本年度より国保会計で計上することとしたものでございます。

2項1目 保健衛生普及費 201万7000円、前年比17万円の減でございます。

9款1項1目 基金積立金 93万3000円、前年比103万1000円の減でございます。25節 基金積立金 財政安定化支援事業 69万5000円、これについては、平成26年の実績額で計上したものでございます。平成27年度の交付税算入額が確定しだい、補正をすることとなります。ちなみに平成25年が171万9000円ということで、110万円ほど減になっていますが、これについては、交付税の算定基礎でございます、保険料負担能力補填分、これが皆減となったこと、これは軽減世帯の減少によるものでございますが、皆減になったこと、また病床数加算による、給付費増等分についても、いわゆるベッドが埋まっていないということの皆減によるものでございます。

10款1項1目 利子は科目存置でございます。

11款1項1目 償還金 2万円、前年同額でございます。

2項1目 延滞金 1000円については、科目存置でございます。

12款1項1目 予備費 300万円、前年同額でございます。

次に、歳入の説明いたします。事項別明細書歳入7ページ、8ページをお開き願います。

1款1項1目 一般被保険者国民健康保険税 5112万2000円、前年比293万7000円の減でございます。1節 医療給付費分の現年課税分でございますが、本年度被保険者数は560人と見込んだところでございます。ちなみに昨年当初見込みでは570人でございました。この減少分については、後期高齢者への移行分ということで、10人の減としたところでございます。1人当たり6万4910円で5名は退職ということで、555人を乗じて、3602万6000円と見込んだところでございます。

2節 後期高齢者支援金分の現年課税分でございますが、ここについても被保険者数の見込みが560人でございますが、一人当たり1万8276円で555人を見込んで1014万4000円としたところでございます。3節 介護納付金分の現年課税分でございますが、ここの被保険者数については、195名と見込んだところでございます。退職する被保険者はいないということで、そのまま一人当たりの単価は2万2165円と見込み、195名で432万2000円としたところでございます。4節から6節まで特に申し上げることはございません。

2目 退職被保険者等国民健康保険税 52万9000円、前年比1万6000円の減でございます。1節

から3節まで退職被保険者見込み数、先ほど申し上げました、一般を除いた分、いわゆる5名で見込みました。単価については、一般の被保険者と同じ単価を使って算出したところでございます。4節から6節までは科目存置といたしました。

2款1項1目 療養給付費等負担金4780万円、前年比340万1000円の減でございます。1節 現年度分でございますが、内訳は、医療給付費分3648万9000円、後期高齢者支援分830万2000円、介護納付分300万8000円としたところでございます。

2目 高額医療費共同事業負担金127万6000円、前年比4万5000円の減でございます。国が4分の1を負担するものでございます。北海道は4分の1、残り2分の1については保険税で対応することとなっています。平成26年度の概算拠出金が510万7000円でございますので、これの4分の1を計上したところでございます。

3目 特定健康診査等負担金26万9000円、前年比2万2000円の減でございます。特定検診等に対する3分の1補助でございます。平成26年度当初申請額ほどを計上したところでございます。

2項1目 財政調整交付金110万8000円、前年比10万7000円の増でございます。2節 特別調整交付金でございますが、国保ソフトウェアシステムの改修に伴う交付金でございます。これは海外療養費に対応するものでございます。

3款1項1目 療養給付費等交付金142万円、前年比15万3000円の減でございます。1節 現年度分で療養給付費交付金については、平成26年度の交付金決算方法に算出したところでございます。その算出内訳については、退職被保険者等療養給付費145万8000円、退職被保険者等療養費5万円、退職被保険者等高額療養費10万8000円、高額介護合算療養費2万円、移送費1万円を計上したところでございます。

4款1項1目 前期高齢者交付金4147万6000円、1667万6000円の増でございます。前期高齢者は65歳から74歳までの偏在による保険者間の交付金を調節するための制度でございます。平成25年の精算分と平成27年の概算の差額による額となります。平成27年の概算額6792万8611円、これに対して平成25年の精算額2643万7393円の減ということになります。その他に調整額1万4487円の返礼がございます。差し引きまして、4147万6731円となるものでございます。これについては、社会保険診療報酬支払金のシミュレーションデータによるものでございます。

5款1項1目 高額医療費共同事業負担金127万6000円、前年比4万5000円の減でございます。計算方法については、先ほど国の負担分で申し上げたものと同じでございます。

2目 特定健康診査等負担金26万9000円、前年比2万2000円の減でございます。

2項1目 財政調整交付金1194万9000円、前年比85万2000円の減でございます。1節 普通調整交付金1194万8000円でございますが、内訳としましては、医療給付費分912万1000円、老人医療拠出金についてはございません。後期高齢者支援金分207万5000円、介護分75万2000円としたものでございます。

6款1項1目 高額医療費共同事業交付金580万円、前年比320万円の増でございます。歳出でも申し上げましたが、本年から1件80万円以上が対象となっているものでございます。平成26年度上期の実績を基に措置をいたしました。平成26年度の1期から8期までの実績、これが386万9064円となっております。その1ヶ月平均を出しまして、12か月分を掛けたところ580万円となっております。

2目 保険財政共同安定化事業交付金5270万円、前年比3110万円の増でございます。歳出で申し

上げましたとおり、1件30万円以上から本年は1円以上となったことにより増となったものでございます。

7款1項1目 利子及び配当23万8000円、前年比7000円の減でございます。

8款1項1目 一般会計繰入金1345万6000円、前年比57万9000円の減でございます。保険基盤安定（軽減分）450万円でございますが、低所得者に対する軽減対策分で、北海道が4分の3、一般会計で措置する分が4分の1ということで450万円の計上いたしました。また支援分でございますが、中間所得層を中心に保険料負担を軽減するものでございまして、この内訳としては、国が2分の1、道が4分1を負担するものでございますが、一般会計で受け入れて、国保会計で繰り入れするものでございます。財政安定化支援事業については、平成26年の交付税措置されたものでございます。これについても一般会計で受け入れをしています。出産育児一時金、通常分42万円の単価、5件分の3分の2を町が負担するというので、計上しています。短期人間ドックの補助金、これは町単費分でございますが、1件2万円分の90名分を計上しています。事務費は、歳出の総務費一般管理費分216万6000円、総務費の連合会負担金分51万5000円、総務費の賦課徴収費分10万1000円、総務費の運営協議会費分8万円、保険事業の特定検診分46万2000円、保険事業の保健衛生普及費分21万7000円という内訳になっています。単独事業33万円でございますが、一般会計において、医療、福祉対策として、医療費助成、いわゆる乳幼児やひとり親、重度心身障害者の町単費分の事業でございます。これが町で上乗せをしているということで、国保に波及があると、いわゆる受給の増加に繋がるということで、一般会計で負担することとなっています。

2項1目 基金繰入金3500万円、前年比600万円の減でございます。基金取り崩し分でございますが、本年については、3500万円と見込んだところでございます。

9款1項1目 繰越金ですが、科目措置分でございます。

10款1項1目から3項2目まで全て科目措置でございます。

以上で説明を終わります。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。これから質疑に入ります。

それでは事項別明細書歳出28ページから質疑を受けます。

28ページ、29ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 30ページ、31ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 32ページ、33ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 34ページ、35ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 36ページ、37ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 38ページ、39ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 40ページ、41ページについて質疑ありませんか。

- (「なし」の声あり)
- 委員長 (齋藤雅文君) 42 ページ、43 ページについて質疑ありませんか。
(「なし」の声あり)
- 委員長 (齋藤雅文君) 44 ページ、45 ページについて質疑ありませんか。
(「なし」の声あり)
- 委員長 (齋藤雅文君) 46 ページ、47 ページについて質疑ありませんか。
(「なし」の声あり)
- 委員長 (齋藤雅文君) 48 ページ、49 ページについて質疑ありませんか。
(「なし」の声あり)
- 委員長 (齋藤雅文君) 50 ページ、51 ページについて質疑ありませんか。
(「なし」の声あり)
- 委員長 (齋藤雅文君) 52 ページ、53 ページについて質疑ありませんか。
(「なし」の声あり)
- 委員長 (齋藤雅文君) 54 ページ、55 ページについて質疑ありませんか。
(「なし」の声あり)
- 委員長 (齋藤雅文君) 事項別明細書歳入7ページ、8ページについて質疑ありませんか。
(「なし」の声あり)
- 委員長 (齋藤雅文君) 9ページ、10ページについて質疑ありませんか。
(「なし」の声あり)
- 委員長 (齋藤雅文君) 11ページ、12ページについて質疑ありませんか。
(「なし」の声あり)
- 委員長 (齋藤雅文君) 13ページ、14ページについて質疑ありませんか。
(「なし」の声あり)
- 委員長 (齋藤雅文君) 15ページ、16ページについて質疑ありませんか。
(「なし」の声あり)
- 委員長 (齋藤雅文君) 17ページ、18ページについて質疑ありませんか。
(「なし」の声あり)
- 委員長 (齋藤雅文君) 19ページ、20ページについて質疑ありませんか。
(「なし」の声あり)
- 委員長 (齋藤雅文君) 21ページ、22ページについて質疑ありませんか。
(「なし」の声あり)
- 委員長 (齋藤雅文君) 23ページ、24ページについて質疑ありませんか。
(「なし」の声あり)
- 委員長 (齋藤雅文君) 25ページ、26ページについて質疑ありませんか。
(「なし」の声あり)
- 委員長 (齋藤雅文君) 歳入歳出全般について質疑ありませんか。

○8番（篠原正治君） 委員長、8番。

○委員長（齋藤雅文君） 8番、篠原委員。

○8番（篠原正治君） 予算編成の基本的な部分についてお尋ねします。

各会計に共通しますが、今回の予算は骨格ということでもありますから、町長あるいは副町長として、骨格をこの場面でやらなければならないという部分を積み残している思いはあるのだと思います。今まではいろいろなことで、その都度、ソフト、ハード面が出てきていましたが、それに合わせて、予算を低く抑えているということで、一般会計あたりは相当抑えられた交付税の措置が見られますが、そこら辺は今後、補正していくことになるのだと思います。特にこの面は当然出てくるのではないかとということがあって、もしお知らせいただけるものがあれば、お知らせいただきたいと、国の動き、我が町としてやらなければならない部分が当然あるのではないかと思います。それを全て抑えて、骨格だけで組んでいるということで、我々としては、予算の中身が見えづらいということもあるものですから、もし教えていただける部分があればお知らせ下さい。

○住民課長（村上悟君） 住民課長。

○委員長（齋藤雅文君） 住民課長。

○住民課長（村上悟君） 骨格予算ということでございますが、特別会計については、前年と同様、骨格予算とはしていません。一般会計では骨格予算ということでございましたが、特別会計については、骨格予算とはなってございませんので、通常予算編成となっておりますので、ご理解いただきたいと思えます。

○6番（春名久士君） 委員長、6番。

○委員長（齋藤雅文君） 6番、春名委員。

○6番（春名久士君） 全体を見通して、前年度より3700万円の増額になっています。この要因は共同事業拠出金と共同事業交付金3000万円ほどが増えたという形の3700万円の増額だと思いますが、この共同事業拠出金や交付金が増えるということの意味をどう捉えたらいいのかという点と、一番関心のある国民健康保険税が300万円ほど、減額の予算措置になっているということは、税のほうは、前年度並みという形で捉えていいのかどうなのか。この2点をお聞かせ願いたいと思えます。

○住民課長（村上悟君） 住民課長。

○委員長（齋藤雅文君） 住民課長。

○住民課長（村上悟君） 保険財政共同安定化事業交付金、あるいは負担金の増加ですが、全くその通りでございます。一般質問の答弁でも申し上げたとおり、30万円以上であったものが、1円以上となることから、いわゆる枠が広がるということになります。この意味については、市町村負担の平準化を計ろうということでございます。30万円未満のものも対象となることですから、かなり縮まっていくことになるのだらうと思っています。ただ年によって、医療給付費の交付金が多くなるのか、負担金が多くなるのか、いわゆる拠出金が多くなるのかは、場面によって違ってきますので、現在のところ、本町がどちらに転がるのかはわかりませんが、一般質問の答弁でもお話ししたとおり、シミュレーション上では、そんなに大きく差は出てこないだらう、平準化はされてくるだ

ろうと、今のところは捉えています。また国民健康保険税300万円の減とのお話しがございしますが、現在のところまだ所得が確定してございません。事業費から見込んで、本年基金の取り崩しをどれほどやるかを見込んで、税を昨年並みに考えて、基金の取り崩しを3500万円にしたということでございます。私どもとしては、基金残高をなるべく減らさないで、税の負担をそれほど変えないでということで、これまでも取り組んできていますが、広域化を見込んでの基金の使い方ということも考えながら、税の負担が増えることがないようにということで、なるべくそうしていきたいと思っています。ただ、まだ所得が確定していませんので、最終的には6月定例会の補正のときに確定されたものを提示していきたいと思っています。

○3番（中川秀雄君） 委員長、3番。

○委員長（齋藤雅文君） 3番、中川委員。

○3番（中川秀雄君） 共同事業交付金の関係で、今年の場合は医療給付費割、加入者割で算定したと、本会議場の答弁の中では、いろいろなシミュレーションもして、なるべくズレがないようにということで、道の連合会だと思いますが、検討もしたということですが、とりあえず、来年と再来年があるわけです。今年の場合は自治体によってはいろいろなラグが出てくるものですから、国でもてこ入れをして、なるべく幅を抑えるような、処置をとったと聞いています。来年、あるいは再来年もたぶん2018年度から広域化が始まりますから、システムも変わってしまうもので、来年以降、国や道のでこ入れがどのようになるか、まったく不透明ですので、その場合でも今年のような拠出金、負担金の根拠が変わらないのでしょうか。

○住民課長（村上悟君） 住民課長。

○委員長（齋藤雅文君） 住民課長。

○住民課長（村上悟君） 一般質問の答弁で申し上げました70以上のシミュレーションがあったということですが、その中から当然これは不可能ということを除いて、最終的には6通りの中から選んだということが現実でございます。先ほどもお話しがありました、医療費割と被保険者割、その他に所得割があったのですが、所得割を入れると、道に入ってくる特別調整交付金、これを拠出金が交付金の10%を超えた部分について、道の調整交付金で補ってくれるのですが、それが補いきれない額になってしまいます。ですので、その分はシミュレーションから除きましょうということで、第一段階は除いています。いずれにしても、拠出金と交付金があまり差の出ないように、最小限の差に収まるようにということで、出したのが50対50というところでした。そういうことで賛成する市町村数についても150市町村ということで多かったという結果になっています。今後についても、今のところはこのままの方法でいくのではないかと、計算的には一番皆さんに増減がない段階のシミュレーションで出てきていますので、このままでいくのではないかと考えています。

○委員長（齋藤雅文君） 他に全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 質疑なしと認めます。

これを持ちまして、国民健康保険特別会計予算の質疑を終わります。

◎後期高齢者医療特別会計の審議

出席者：町長・副町長・住民課長・住民課主幹（内山主幹）

○委員長（齋藤雅文君） 続きまして、議案第29号 平成27年度幌加内町後期高齢者医療特別会計予算の説明をお願いいたします。

○住民課長（村上悟君） 住民課長。

○委員長（齋藤雅文君） 住民課長。

○住民課長（村上悟君） ご説明いたします。

事項別明細書歳出15ページ、16ページをお開き願います。

1款1項1目 一般管理費17万2000円、前年比1万2000円の増額であります。

2項1目 徴収費4万1000円、前年比3万5000円の減でございます。

2款1項1目 後期高齢者医療広域連合納付金2750万7000円、前年比286万8000円の減でございます。19節 事務費負担金については、市町村均等割80万9011円、高齢者人口割28万5194円、人口割21万6225円という内訳となっております。保険料等負担金については、被保険者側の保険料の内、特別徴収分1039万5000円、普通調整分664万6000円、滞納繰越分1000円、保険基盤安定の繰入分915万5000円でございます。

3款1項1目 後期高齢者健診事業費109万2000円、前年比4万2000円の増でございます。13節 健康診査委託料19万2000円でございますが、本年については、25名分を見たとところでございます。19節 人間ドック受診助成金でございますが、45名分を見込んだところでございます。

4款1項1目 保険料還付金1万円、前年同額でございます。

2目 還付加算金1000円、前年同額でございます。

5款1項1目 予備費1000円、前年同額でございます。

事項別明細書歳入6ページ、7ページをお開き願います。

1款1項1目 特別徴収保険料1039万5000円、前年比8万1000円の減でございます。

2目 普通徴収保険料664万7000円、前年比227万8000円の減でございます。広域連合から示された保険料の総額が1704万1000円ございました。これを平成26年10月以降の徴収区分ごと、いわゆる特別徴収と普通徴収の割合ということになりますが、それぞれ振り分けたもので、特別徴収分61%で1039万5000円、普通徴収分39%で664万6000円としたところでございます。ちなみに平成27年3月現在、被保険者数ですが、特別徴収259名、普通徴収77名の合計336名でございます。

2款1項1目 一般会計繰入金1159万7000円、前年比52万8000円の減でございます。事務費繰入金244万2000円でございますが、この内訳としましては、町の特別会計事務費分の一般管理費17万2000円、徴収費4万1000円で合計21万3000円。健診事業分で、広域連合でございますが、広域連合では受診者に1割の負担を求めているところでございますが、本町の場合、従前から基本健診同様に受診者負担を0とすることから、被保険者の負担額相当分を措置しているものでございますが、これが2万円と見ています。人間ドック助成分45名分を見まして、その他、町住健康増進事業補助金で1000円を見込んでいますので、これを差し引き89万9000円といたしました。

その他に広域連合分の事務費、いわゆる共通経費分ですが、これを131万円と見込み、244万2000円としたところでございます。保険基盤安定繰入金915万5000円でございますが、これについては、低所得者等への減額賦課に対する繰入金でございます。市町村が4分の1を見る、一般会計で負担するものでございます。これを繰り入れたということです。その他に北海道が4分の3ございます。これについては、広域連合から示された数字で平成26年の実績被保険者でシミュレーションをいたしました。

3款1項1目 繰越金1000円、前年同額でございます。

4款1項1目 延滞金、2目 過料については科目存置でございます。

2項1目 保険料還付金5000円、2目 還付加算金については前年同額でございます。

3項1目 預金利子については科目存置でございます。

4項1目 後期高齢者医療広域連合受託事業収入17万2000円、前年比3万8000円の増でございます。

5項1目 雑入についても、特に申し上げることはございません。

以上で説明を終わります。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。これから質疑に入ります。

それでは事項別明細書歳出15ページから質疑を受けます。

15ページ、16ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 17ページ、18ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 19ページ、20ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 21ページ、22ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 23ページ、24ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 事項別明細書歳入6ページ、7ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 8ページ、9ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 10ページ、11ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 12ページ、13ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 歳入歳出全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 質疑なしと認めます。

これを持ちまして、後期高齢者医療特別会計予算の質疑を終わります。
暫時休憩いたします。

休憩 午前10時35分（住民課長・住民課主幹：退席）

再開 午前10時50分

◎介護保険特別会計の審議

出席者：町長・副町長・保健福祉課長補佐・介護保険係長

○委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を解いて審査を続けます。

議案第30号 平成27年度幌加内町介護保険特別会計予算の説明をお願いいたします。

○保険福祉課長補佐（木下八代恵君） 保健福祉課長補佐。

○委員長（齋藤雅文君） 保健福祉課長補佐。

○保険福祉課長補佐（木下八代恵君） ご説明いたします。

事項別明細書歳出25ページ、26ページをお開き願います。

1款1項1目 一般管理費から3項2目 認定調査費まで特にありません。

2款1項1目 居宅サービス給付費、本年度3836万4000円、前年比843万6000円の減です。
前年比では、要支援10名、要介護4名の減、計14名の減を見込んでいます。

2目 地域密着型サービス給付費、本年度2696万2000円、前年比696万2000円の増です。前年比では、登録者13名の2名増で見込んでいます。

3目 施設サービス給付費、本年度9340万円、前年比2440万円の減です。前年比では、入所者数26名の7名減を見込んでいます。

4目 福祉用具購入費、5目 住宅改修費については、前年同額を計上しています。

6目 居宅サービス計画給付費、本年度468万1000円、前年比93万7000円の減です。1目の居宅サービス利用者数の減によるものです。

2項1目 高額サービス費、本年度553万2000円、前年比124万8000円の減です。施設入所者分で約150万円の減、地域密着型サービス利用で約20万円の増によるものです。2目 高額医療合算サービス費、本年度40万円、前年比30万円の減です。前年実績に基づくものです。

3項1目 特定入所者サービス費、本年度965万9000円、前年比324万1000円の減です。施設入所者の減によるものです。

3款1項1目 財政安定化基金拠出金については科目存置です。

4款1項1目 介護予防施策事業費、本年度327万5000円、前年比25万4000円の増です。2節 給料から27節 公課費まで介護予防施策に関わる事業を例年通り実施することとして、必要額を経常しています。

5款1項1目 基金積立金から6款 諸支出金、7款 公債費、8款 予備費まで特に説明はあ

りません。

事項別明細書歳入 6 ページ、7 ページをお開き願います。

1 款 1 項 1 目 第 1 号被保険者保険料、本年度 3026 万 1000 円、前年比 26 万円の増です。第 1 号被保険者数は前年比 1 名減の 640 人で算出しています。今回の予算額は平成 26 年 1 1 月現在の賦課決定分を算出根拠としていますが、本議会に上程しました議案第 20 号 幌加内町介護保険条例の一部を改正する条例が可決されました後には、この保険料額も変更となりますが、その調整については、9 月に補正予算として、お示ししたいと思います。

2 款 1 項 1 目 介護給付費負担金、本年度 3081 万 2000 円、前年比 494 万円の減です。介護給付費負担金で保険給付費のうち、施設分 15%、その他の分 20%の負担割合です。

2 項 1 目 調整交付金、本年度 1434 万 5000 円、前年比 252 万 1000 円の減です。調整交付金は介護給付費総額の 7.98%の割合を見込んで計上しています。

2 目 地域支援事業交付金、本年度 179 万 3000 円、前年比 1 万 5000 円の減です。介護予防施策事業上限額 249 万 5000 円の 25%、包括的支援事業上減額 300 万円の 39%の負担割合です。

3 款 1 項 1 目 介護給付費交付金、本年度 5033 万 5000 円、前年比 1096 万円の減です。介護給付費交付金が保険給付費 28%の負担割合でこの額になります。

2 目 地域支援事業交付金、本年度 69 万 8000 円、前年比 2 万 5000 円の減です。介護予防施策事業の上限額 249 万 5000 円の 28%の負担割合です。

4 款 1 項 1 目 介護給付費負担金、本年度 2760 万 8000 円、前年比 533 万 2000 円の減です。保険給付費施設分 17.5%、その他の分 12.5%の負担割合です。

2 項 1 目 地域支援事業交付金、本年度 89 万 6000 円、前年比 7000 円の増です。この交付金は介護予防施策事業上限額 249 万 5000 円の 12.5%と包括的支援事業上減額 300 万円の 19.5%の負担割合です。

5 款 財産収入については特にございませぬ。

6 款 1 項 1 目 一般会計繰入金、本年度 2708 万 4000 円、前年比 348 万 9000 円の減です。介護給付費繰入金 2246 万 8000 円は保険給付費 12.5%の負担割合です。事務費繰入金 271 万 5000 円は歳出の 1 款 総務費の全額です。地域支援事業繰入金 190 万 1000 円は介護予防施策事業上限額 249 万 5000 円の 12.5%、包括的支援事業上減額 300 万円の 19.5%とそれぞれの上減額を超えた自主財源分の負担分を計上しております。

2 項 1 目 基金繰入金、本年度 525 万 9000 円、前年比 476 万 9000 円の増です。介護給付費準備基金繰入金 525 万 9000 円ですが、本会計全体の所要額から特定財源を差し引いた不足額を基金取り崩しで充当するものです。

7 款 繰越金から 8 款 諸収入、町債については特にございませぬ。

事項別明細書総括 3 ページ、4 ページをお開き下さい。

歳入歳出総括ともに 1 億 8934 万 1000 円とし、収支のバランスをとるものです。

以上で説明を終わります。

- 委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。これから質疑に入ります。
 それでは事項別明細書歳出 25 ページ、26 ページについて質疑ありませんか。
 （「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 27 ページ、28 ページについて質疑ありませんか。
 （「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 29 ページ、30 ページについて質疑ありませんか。
 （「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 31 ページ、32 ページについて質疑ありませんか。
 （「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 33 ページ、34 ページについて質疑ありませんか。
 （「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 35 ページ、36 ページについて質疑ありませんか。
 （「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 37 ページ、38 ページについて質疑ありませんか。
 （「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 39 ページ、40 ページについて質疑ありませんか。
 （「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 41 ページ、42 ページについて質疑ありませんか。
 （「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 事項別明細書歳入 6 ページ、7 ページについて質疑ありませんか。
 （「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 8 ページ、9 ページについて質疑ありませんか。
 （「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 10 ページ、11 ページについて質疑ありませんか。
 （「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 12 ページ、13 ページについて質疑ありませんか。
 （「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 14 ページ、15 ページについて質疑ありませんか。
 （「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 16 ページ、17 ページについて質疑ありませんか。

○8 番（篠原正治君） 委員長、8 番。

○委員長（齋藤雅文君） 8 番、篠原委員。

○8 番（篠原正治君） 6 款 1 項 1 目 一般会計繰入金

繰入金の額が、一般会計の分が大きく減り、基金を取り崩してという形だと思います。一般会計からの繰り入れのルールがあるのか、もう 1 点は基金繰入金が前年度よりは増えて、あと使える基金余剰というのは、どの程度あるのか、一般会計の繰入金が減ることであれば、限りなく繰入金を減らすことになると思いますが、そこら辺のバランスや残高も含めてお知らせ下さい。

○介護保険係長（安芸修君） 介護保険係長。

○委員長（齋藤雅文君） 介護保険係長。

○介護保険係長（安芸修君） 先ほどのご質問ですが、介護給付繰入金、一般会計からの繰入金の関係につきましては、12.5%を町の方から、これがルール分というものになります。そちらの12.5%から足りない分、余剰分については、介護基金給付費準備基金繰入金から、補填するという形になります。この給付金基金、準備基金繰入金の性質につきましては、今回上程させていただきました、26年度補正で1000万円を一般会計から繰り入れしています。それを見越して繰入金という形で入っていますが、26年度の年度末でのお話しになりますけれども、予定としましては1200万円ほどの基金残高を見込んでいます。そのうち500万円を取り崩す形になりますが、保険料のところでご説明させていただきましたが、保険料の介護保険条例の改正に伴いまして、保険料が200円アップする形で現在上程させていただいていますけれども、その関係の調整をした後に、この基金額も減るものと考えています。

○委員長（齋藤雅文君） 他に16ページ、17ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 18ページ、19ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 20ページ、21ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 22ページ、23ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 歳入歳出全般について質疑ありませんか。

○2番（小関和明君） 委員長、2番。

○委員長（齋藤雅文君） 2番、小関委員。

○2番（小関和明君） 歳出について、在宅サービスの支出の金額が減額という状況になっていますが、この減額になるようなサービス状況がどのように変更になって、どのような状況なのか、ご説明いただければと思います。

○介護保険係長（安芸修君） 介護保険係長。

○委員長（齋藤雅文君） 介護保険係長。

○介護保険係長（安芸修君） 居宅サービス給付費については、利用者数の減が大きい要因でございます。また最近の傾向としまして、在宅介護サービス、本町におきましては、訪問介護、デイサービスという形が主な事業となりますけれども、利用者の介護度等が上がって、施設の方へ入所、また転出されて、近年、認定者の割合が、在宅の認定者の方が減っている傾向にあります。認定者のお話しで補足させていただきますが、26年当初は105名でスタートしましたが、現在、認定者数は93名となっています。その兼ね合いもありまして、施設サービスもそうですが、施設サービスの方も利用者が減っているということで、在宅サービス、施設サービスともに給付費が大きく減になっているということで、今回の予算で計上させていただいています。

○委員長（齋藤雅文君） 他に歳入歳出全般について質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 質疑なしと認めます。
これを持ちまして、介護保険特別会計予算の質疑を終わります。
暫時休憩いたします。

休憩 午前 11 時 11 分（保健福祉課長補佐・介護保険係長：退席）

再開 午前 11 時 12 分

◎簡易水道事業特別会計の審議

出席者：町長・副町長・建設課長・建設課長補佐

○委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を解いて審査を続けます。
議案第 32 号 平成 27 年度幌加内町簡易水道事業特別会計予算の説明をお願いいたします。

○建設課長（竹谷浩昌君） 建設課長。

○委員長（齋藤雅文君） 建設課長。

○建設課長（竹谷浩昌君） ご説明いたします。

事項別明細書歳出 19 ページ、20 ページをお開き願います。

1 款 1 項 1 目 一般管理費、予算額 46 万円、前年比 4 万 6000 円の減であります。

2 目 財産管理費、予算額 2825 万 2000 円、前年比 73 万 6000 円の減であります。11 節 修繕料 151 万 9000 円ですが、排水管の漏水などの年間修理費、大枠で 120 万円を計上しているほか、朱鞠内浄水場非常用電源切替開閉器設置 14 万 5800 円、政和専用水道施設床排水ポンプ、平成 5 年設置のものの更新で 17 万 2800 円の内訳となっております。15 節 水道埋設標識設置工事 289 万 5000 円ですが、水道管の分岐や排泥の各バルブの箇所に標識を設置する工事で、既存の標識で破損しているものは更新と新規の設置、合わせて 45 基の設置を予定しています。この標識につきましては、地中での漏水箇所の調査、また修理作業の際に必要なため、今回予算計上したところであります。水道メーター器取替工事 423 万 4000 円ですが、計量法に基づくメーター器の更新で、本年度 91 器の取替えを予定しています。

2 款 1 項 1 目 元金、予算額 2535 万 1000 円、前年比 152 万 5000 円の増であります。23 節 償還元金 2535 万 1000 円ですが、過疎債分 222 万 378 円、水道事業債分 2313 万 226 円の内訳となっております。

2 目 利子、予算額 959 万 7000 円、前年比 190 万 4000 円の減であります。23 節 償還利子 959 万 7000 円ですが、過疎債分 60 万 9284 円、水道事業債分 898 万 6862 円の内訳でございます。平成 26 年度末の起債残高は、過疎債 1 億 176 万 9539 円、水道事業債 3 億 3971 万 2910 円となっております。

3款1項1目 予備費、予算額 1000 円、前年同額でございます。

以上で歳出の説明を終わります。事項別明細書歳入 6 ページ、7 ページをお開き願います。

1款1項1目 工事負担金、2項1目 工事分担金につきましては、科目存置でございます。

2款1項1目 水道使用料、予算額 2224 万 2000 円、前年比 3000 円の増であります。1節 水道使用料 2224 万 1000 円ですが、基本料金で前年比 8 件減の 705 件、超過料金で前年比 194 トン増の 8 万 9109 トンを見込んでいます。

2項1目 諸手数料、科目存置でございます。

3款1項1目 財産貸付収入、予算額 241 万 2000 円、前年比 2 万 7000 円の減であります。1節 メーター器貸付料 241 万 1000 円ですが、これは前年比 8 件減の 705 件で見込んでいます。

4款1項1目 他会計繰入金、予算額 3899 万 6000 円、前年比 113 万 7000 円の減であります。1節 一般会計繰入金 3899 万 6000 円ですが、これは一般会計歳出で説明しましたとおり、基準分と基準外分の繰出金を同額繰り入れするものであります。

5款1項1目 繰越金、科目存置でございます。

6款1項1目 延滞加算金から 3項1目 雑入まで全て科目存置であります。

以上で歳入の説明を終わります。事項別明細書総括 3 ページ、4 ページをお開き願います。

歳入歳出の予算総額をそれぞれ 6366 万 1000 円として、歳入歳出のバランスをとっています。以上で説明を終わります。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。これから質疑に入ります。

それでは事項別明細書歳出 19 ページから質疑を受けます。

19 ページ、20 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 21 ページ、22 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 23 ページ、24 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 25 ページ、26 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 事項別明細書歳入 6 ページ、7 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 8 ページ、9 ページについて質疑ありませんか。

○8 番（篠原正治君） 委員長、8 番。

○委員長（齋藤雅文君） 8 番、篠原委員。

○8 番（篠原正治君） 2 款 1 項 1 目 水道使用料

過年度分は科目存置となっています。年度末を見越して、未収・滞納がないということでしょうか。今までもそのような滞納がなかったのかお知らせ下さい。

○建設課長（竹谷浩昌君） 建設課長。

○委員長（齋藤雅文君） 建設課長。

○建設課長（竹谷浩昌君） 過年度分につきましては、今のところ、年度末を締めていませんので、残るといことはございません。水道係の担当者も、1年途中で収入が滞っている方には、足を運んで、納入していただくようお願いしている状況でございますので、今のところはそれなりに大きな状況はございませんが、今後3月に締めてからどのようなようになっていくかということがあります。そのことで科目存置を上げていますので、よろしく願いいたします。

○委員長（齋藤雅文君） 他に8ページ、9ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 10ページ、11ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 12ページ、13ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 14ページ、15ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 16ページ、17ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 歳入歳出全般について質疑ありませんか。

○2番（小関和明君） 委員長、2番。

○委員長（齋藤雅文君） 2番、小関委員。

○2番（小関和明君） 水道使用料の点についてお尋ねします。26年度の冬は雪が少なく大変ありがたいという思いと同時に、雪が少ないことによって、いろいろなトラブルが多かったようにもお聞きしています。漏水の使用料について、どのような対応をされているのかお聞きします。

○建設課長（竹谷浩昌君） 建設課長。

○委員長（齋藤雅文君） 建設課長。

○建設課長（竹谷浩昌君） 今シーズン、雪が非常に少ないという状況で、先般、IPでも放送しながら漏水調査がございました。水道の水量の管理につきましては、浄水場の施設を整備したときに、それぞれの担当と委託業者にパソコンで水量が把握できるようになっています。先般は急に水量が増えたということで、担当で延べ4日間ほど、住民の皆さんの利用がおさまった夜中から朝にかけてやっていた状況です。雪の関係ではなかったのですが、ある程度の箇所をバルブ等で絞りながら、やっていく作業ですけれども、最終的には個人住宅のメーター器を通った後の漏水でありまして、それらについては、いろいろな場面がありますけれども、単純に利用されている方の管理ミス、例えば水を落とさないで凍結してしまったり、膨大に出たという場合などありますけれども、家の中の地下に埋まっているものについては、なかなか住民の方もわからないという状況がありますので、その辺については、かなり出ている場合もありますので、過去の状況によりましては、減免している状況であります。今回調査した中でも、その後、業者と担当も立ち会って、2～3日はか

かりましたが、一応止めることができましたということで、大きな工事、そちらの工事は個人負担ですけれども、そのような状況で、大きな漏水はございませんでした。

○委員長（齋藤雅文君） 歳入歳出全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 質疑なしと認めます。

これを持ちまして、簡易水道事業特別会計予算の質疑を終わります。

◎下水道事業特別会計の審議

出席者：町長・副町長・建設課長・建設課長補佐

○委員長（齋藤雅文君） 引き続き議案第33号 平成27年度幌加内町下水道事業特別会計予算の説明をお願いいたします。

○建設課長（竹谷浩昌君） 建設課長。

○委員長（齋藤雅文君） 建設課長。

○建設課長（竹谷浩昌君） ご説明いたします。

事項別明細書歳出19ページ、20ページをお開き願います。

1款1項1目 一般管理費、予算額13万5000円、前年度同額でございます。

2目 財産管理費、予算額1598万3000円、前年比309万3000円の減でございます。11節 特別修繕料229万円ですが、これは農業集落排水処理施設の流量調整ポンプ1台、上澄水排出装置2台、脱水機1台のオーバーホールであります。15節 幌加内地区集落排水整備屋外配管工事59万2000円ですが、地域密着型介護老人福祉施設の建設に伴って、下水道本管と施設からの下水管を繋ぐ公共枡の設置の工事であります。

3目 浄化槽管理費、予算額2111万7000円、前年比117万8000円の増でございます。15節 合併処理浄化槽設置工事777万6000円、設置希望があった場合に対応するため、例年3基分を予定し、本年度も予算計上したものであります。

2款1項1目 元金、予算額2791万3000円、前年比54万5000円の増であります。23節 償還元金2791万3000円ですが、過疎債分291万9060円、下水道事業債分2499万3150円の内訳となっております。

2目 利子、予算額718万4000円、前年比59万3000円の減であります。23節 償還利子718万4000円ですが、過疎債分6万9363円、下水道事業債分711万3797円の内訳となっております。平成26年度末の起債残高につきましては、過疎債855万6106円、下水道事業債4億699万3551円となっております。

3款1項1目 予備費、予算額1000円、前年度同額であります。

以上で歳出の説明を終わります。事項別明細書歳入8ページ、9ページをお開き願います。

1款1項1目 浄化槽使用料、予算額985万4000円、前年比26万7000円の減であります。1節 浄化槽使用料985万3000円ですが、前年比6件減の199件を見込んでいます。

2目 下水道使用料、予算額 1632 万 3000 円、前年比 26 万 8000 円の減であります。1節 下水道使用料 1632 万 2000 円ですが、基本料金で前年比 3 件減の 441 件、超過料金で前年比 1736 トン減の 4 万 3506 トンを見込んでいます。

2款 1項 1目 他会計繰入金、予算額 3945 万 3000 円、前年比 142 万 8000 円の減であります。1節 一般会計繰入金 3945 万 3000 円ですが、これは一般会計歳出で説明しましたとおり、基準内分と基準外分の一般会計繰出金を同額繰り入れするものであります。

3款 1項 1目 繰越金、予算額 1000 円、前年同額であります。

4款 1項 1目 雑入、予算額 2000 円、前年同額であります。

5款 1項 1目 下水道事業債、予算額 670 万円、前年同額であります。1節 個別排水処理施設整備事業債 670 万円ですが、歳出で説明いたしました合併処理浄化槽設置工事 3 基分、777 万 6000 円の財源として予定しているものでございます。

事項別明細書総括 5 ページ、6 ページをお開き願います。

歳入歳出の予算総額をそれぞれ 7233 万 3000 円として、歳入歳出のバランスをとるものであります。以上で説明を終わります。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。これから質疑に入ります。

それでは事項別明細書歳出 19 ページ、20 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 21 ページ、22 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 23 ページ、24 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 25 ページ、26 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 事項別明細書歳入 8 ページ、9 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 10 ページ、11 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 12 ページ、13 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 14 ページ、15 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 16 ページ、17 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 歳入歳出全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 質疑なしと認めます。

これを持ちまして、下水道事業特別会計予算の質疑を終わります。
暫時休憩いたします。

休憩 午前 11 時 35 分（建設課長・建設課長補佐：退席）
再開 午後 1 時 07 分

◎国民健康保険病院事業会計の審議

出席者：町長・副町長・病院事務長

○委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を解いて審査を続けます。

議案第 31 号 平成 27 年度幌加内町国民健康保険病院事業会計予算の説明をお願いいたします。

○病院事務長（中河滋登君） 病院事務長。

○委員長（齋藤雅文君） 病院事務長。

○病院事務長（中河滋登君） ご説明いたします。

収益的収支の支出から説明をさせていただきますので、7 ページ、8 ページをお開き願いたく思います。

1 款 1 項 1 目 給与費 2 億 6326 万 4000 円、前年対比 2635 万 9000 円の減額でございます。1 節 給与 8310 万 2000 円、前年対比 2189 万 1000 円の減でございますが、26 年度当初予算では技術職給で前薬局長の人件費を見ていました。また看護職給では 2 名の退職者がおりましたので、その分を落としていきます。例年、看護師の採用として 3 名分の人件費を見ていましたが、28 年の診療所化の関係もございまして、27 年度は当初よりこの部分の予算を落としているところでございます。そのため大きな減額となっております。ただ医師につきましては、現在も欠員としております。副院長職につきましては、当初予算に計上しているところでございます。2 節 手当 6071 万 7000 円、前年対比 1008 万 8000 円の減、これは給与で申し上げたことに付随して減額となっているところでございます。3 節 賃金 6725 万 2000 円、前年対比 1583 万 2000 円の増額、これは派遣看護師を最大限確保した場合、月 40 万円の常勤看護師 3 名分、夜勤などスポットで入っていただく看護師、月 20 万円の 2 名分の経費を当初から見ています 1238 万 1000 円の増額でございます。臨時技術職員賃金で、現在の嘱託薬局長の賃金 450 万円を見ています。臨時介護員の賃金で作業予定として、例年介護福祉士の賃金を 2 名見ていましたが、診療所になる関係で 27 年度では当初より落としています。それが 427 万 4000 円となっておりますので、これらが主な要因でございます。4 節 法定福利費 5219 万 3000 円、対前年比 976 万 2000 円の減、先ほど申し上げました、職員減が負担金などに影響を及ぼしていることが要因でございます。

2 目 材料費 5096 万 7000 円、前年対比 9 万 1000 円の減ですが、例年ご説明しているとおおり、実績額から予算を計上しているところでございます。

3 目 経費 7860 万 5000 円、前年対比 80 万 9000 円の増でございます。5 節 光熱費の電気料で単価アップにより 24 万 8000 円の増、6 節 燃料費、灯油で同じように 23 万 2000 円の増などが主な要因でございます。10 節 賃借料 555 万円、前年対比 99 万 4000 円の減でございます。主な要因は基準寝具借上料 71 万 4000 円の減、入院患者数減少により減額となっているところでございます。

11 節 委託料 4134 万 1000 円、前年対比 2 万 8000 円の減でございます。夜警・清掃委託料 22 万 8000 円の増、感染性廃棄物処理業務委託料で同じく単価上昇により、14 万 7000 円の増額となっております。これも先ほど申し上げましたとおり、患者数減少の影響で給食業務の委託料で 105 万円ほど減額となっているという状況でございます。12 節 印刷製本費から 17 節 負担金まで、これらは例年と特に変わるところがございませんので、説明を省略します。19 節 報償費 562 万円、前年対比 321 万円の増となっております。嘱託の薬局長の報償費 300 万円を本年度 27 年度では当初から計上しているためでございます。

4 目 減価償却費から 6 目 研究研修費までにつきましては、特に申し上げることはございません。

2 項の医業外費用 228 万 8000 円、前年対比 41 万円の増、これは 2 目の企業債利息でございます。全額 27 年度で償還するという予算計上をしているための増でございます。

4 項の特別損失につきましては、公営企業会計法の改正による引当金中、未集金になることから、予想される金額を 5 年以上経過した回収困難な部分をルールに基づき積算した結果、5 万 4000 円分の計上を当初予算にしているところでございます。

以上で収益的支出の説明を終わります。

次に収益的収入の説明をいたしますので、2 ページ、3 ページをお開き願います。

1 款 1 項 1 目 入院収益 4909 万 6000 円、前年対比 225 万 2000 円の減額でございます。入院診療報酬単価が実績で計算すると下がっています。内容は管理栄養士の配置不足による栄養管理加算の減算、また機能訓練室の面積要件の関係で、療養加算などがとれないということで、単価が下がっている状況でございます。ニーズにつきましては、26 年度と同様、療養入院 8 名で積算をしています。

2 目 外来収益 1 億 1409 万 1000 円、前年対比 908 万 3000 円の減、ここは収支バランスをとっているところでございますけれども、診療報酬実績から見まして、一日外来患者数 39 人と高い数字で見込まざるを得ない状況でございます。

3 目 他会計負担金 6336 万 4000 円で 26 年度と同額でございます。保険衛生業務に関する、ベッド数に対して 70 万 6000 円の普通交付税の交付、また 27 年度も救急指定を取り下げない方針でございますので、3459 万 7000 円を見込んでいるところでございます。

4 目 その他医業収益 9936 万 6000 円、前年対比 2874 万円の減、5 節 介護収益中、介護療養サービス収益、2958 万 8000 円の減、診療報酬単価実績で、介護療養の入院患者数 21 名で積算をしています。26 年度と比較して、患者数を 5 名、減員して計算をして、予算計上をしているところでございます。

2 項の医業外収益 8811 万 6000 円、前年対比 218 万 1000 円の増ですが、7 目 長期前受金戻入、固定資産購入時の減価償却費を収益化する目でございますが、薬局の全自動錠剤分包機を新たに購入したことによる増額が主な要因でございます。

以上で収益的収支の説明を終わりますが、総額 4 億 1403 万 3000 円、前年対比 3789 万 4000 円の減、8.4%の減で 27 年度の病院事業を運営していくところでございます。

続きまして資本的収支の支出からご説明させていただきますので、23 ページ、24 ページをお開き願います。

1 款 1 項 1 目 企業債元金償還金 3431 万 1000 円、前年対比 2792 万円の増額でございます。これは先ほども申し上げましたが、平成 27 年度で企業債元金を全額償還するために計上していると

ころでございます。その他27年度につきましては、診療所に向かい、有形固定資産は新たに病院として購入は行わないということで、説明した予算のみ計上してございます。

続きまして資本的収支の収入をご説明しますので、20ページ、21ページをお開き願います。

1款1項1目 他会計負担金901万5000円、前年対比23万7000円の減でございます。支出で説明いたしました、企業債元金も全額償還する上で、一般会計からルールに基づき、繰り入れいただく金額を計上しているところでございます。資本的支出に対して不足する2529万6000円につきましては、過年度分損益勘定留保資金から補填をいたします。

以上で資本的収支の説明を終わらせていただきます。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。これから質疑に入ります。

それでは収益的支出7ページ、8ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 9ページ、10ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 11ページ、12ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 13ページ、14ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 15ページ、16ページについて質疑ありませんか。

○8番（篠原正治君） 委員長、8番。

○委員長（齋藤雅文君） 8番、篠原委員。

○8番（篠原正治君） 1款2項4目 雑損失

雑損失2万円の計上ですが、会計としてなんら変わることがないのか、経営方針が病院から診療所へ変わってしまうわけですが、こら辺のことを持ち越すのかどうなのか、診療未収はもともとあったかと思えます。他のことと関連しますが、経理として、今の病院の施設をそのまま診療所として継続することになるのか、後の方で出てきますが、償却資産ですが、それらは新しい診療所として抱えることになるのか、だとすれば大変な金額になると思えますが、こら辺の会計手法を企業会計がそのまま続くのかどうなのか、教えて下さい。

○病院事務長（中河滋登君） 病院事務長。

○委員長（齋藤雅文君） 病院事務長。

○病院事務長（中河滋登君） 病院事業会計は、公営企業会計を適用していますが、28年度に向けては、朱鞠内診療所と同様の形で会計内で処理をしますので、公営企業会計からは変わるということで考えています。各種雑損失や未収金等がございますが、その辺については、既に先行している病院から診療所化した先進の町の手法を得ながら、基本的には0にした状態で診療所に移りたいと考えています。また有形固定資産につきましては、この手法も27年度中に町の管財係などと十分に協議しなければいけないと思っておりますが、病院から診療所へ抱え込むという考え方はしていません。一般財産の方へ落として、その後、処理をするということで考えていますので、診

療所にそのままということではないことで現在考えています。

- 委員長（齋藤雅文君） 他に 15 ページ、16 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 17 ページ、18 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 収益的収入 2 ページ、3 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 4 ページ、5 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 収益的収入支出全般について質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 資本的支出 23 ページ、24 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 資本的収入 20 ページ、21 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 資本的収入支出全般について質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 質疑なしと認めます。

これを持ちまして、国民健康保険病院事業会計予算の質疑を終わります。
暫時休憩いたします。

休憩 午後 1 時 27 分（病院事務長：退席）

再開 午後 1 時 28 分

◎奨学資金特別会計の審議

出席者：町長・副町長・教育長・教育次長

- 委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を解いて審査を続けます。
議案第 34 号 平成 27 年度幌加内町奨学資金特別会計予算の説明をお願いいたします。

○教育次長（蔵前裕幸君） 教育次長。

○委員長（齋藤雅文君） 教育次長。

○教育次長（蔵前裕幸君） ご説明いたします。

事項別明細書歳出 18 ページ、19 ページをお開き願います。

1 款 1 項 1 目 奨学資金、本年度 636 万円、前年対比 192 万円の増でございます。

1 目 奨学資金、新規・継続合わせまして、在学が 5 名、このうち 1 名は医療大学です。専門学校

が3名、高校が2名、幌高生が1名の計11名の予算計上となっています。また入学支度金につきましては、概要で申し上げましたとおり、当初より本年度、予算を組ませていただいています。大学2名、専門学校2名、高校2名、幌高生1名分を計上しているところでございます。

2款1項1目 基金積立金、本年度10万8000円、前年同額でございます。25節 基金積立金は歳入の寄附金全額としているところでございます。

以上で歳出の説明を終わります。続きまして事項別明細書歳入7ページ、8ページをお開き願います。

1款1項1目 一般会計繰入金、本年度1000円で前年同額でございます。この目については、科目存置でございます。

2項1目 基金繰入金、本年度355万9000円、対前年比261万円の増でございます。貸付金に対する不足額を補っているものでございます。

2款1項1目 返還金、本年度279万円、対前年比69万円の減でございます。返還金予定者は17名で内訳として、大学が10名、専門学校4名、高等学校が3名となっているところでございます。

3款1項1目 寄附金、本年度10万円、対前年同額でございます。前年同額を見込んでいるところでございます。

4款1項1目 基金利子、本年度8000円、前年同額でございます。寄附金同様、前年同額を見込んでいるところでございます。

5款1項1目 繰越金、本年度1万円、前年同額でございます。

以上で歳入の説明を終わります。続きまして事項別明細書総括4ページ、5ページをお開き願います。

事項別明細書の総括でございます。歳入、歳出ともに646万8000円とし、収支バランスをとっているところでございます。なお3ページに第2表、債務負担行為を掲載していますので、お目とおしをいただきたいと思っております。以上で説明を終わります。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。これから質疑に入ります。

それでは事項別明細書歳出18ページから質疑を受けます。

18ページ、19ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 20ページ、21ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 事項別明細書歳入7ページ、8ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 9ページ、10ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 11ページ、12ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 13ページ、14ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 15 ページ、16 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 歳入歳出全般について質疑ありませんか。

○4番（中村雅義君） 委員長、4番。

○委員長（齋藤雅文君） 4番、中村委員。

○4番（中村雅義君） 今までの滞納金はどの程度あるのかお知らせ下さい。

○教育次長（蔵前裕幸君） 教育次長。

○委員長（齋藤雅文君） 教育次長。

○教育次長（蔵前裕幸君） お答えいたします。

若干データが古くて恐縮ですが、予算編成時の12月1日現在で251万5000円の滞納額となっているところでございます。

○委員長（齋藤雅文君） 他に歳入歳出全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 質疑なしと認めます。

これを持ちまして、奨学資金特別会計予算の質疑を終わります。

以上で全会計の質疑が終了いたしました。

暫時休憩いたします。

休憩 午後 1時35分（教育長・教育次長：退席）

再開 午後 1時39分

○委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を解きます。

ただいま平成27年度全会計の質疑が終了いたしましたので、これから議案ごとに順次討論を行います。議案第27号 平成27年度幌加内町一般会計予算について討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 討論なしと認めます。

次に、議案第28号 平成27年度幌加内町国民健康保険特別会計予算について討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 討論なしと認めます。

次に、議案第29号 平成27年度幌加内町後期高齢者医療特別会計予算について討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 討論なしと認めます。

次に、議案第 30 号 平成 27 年度幌加内町介護保険特別会計予算について討論ありませんか。
（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 討論なしと認めます。

次に、議案第 31 号 平成 27 年度幌加内町国民健康保険病院事業会計予算について討論ありませんか。
（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 討論なしと認めます。

次に、議案第 32 号 平成 27 年度幌加内町簡易水道事業特別会計予算について討論ありませんか。
（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 討論なしと認めます。

次に、議案第 33 号 平成 27 年度幌加内町下水道事業特別会計予算について討論ありませんか。
（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 討論なしと認めます。

次に、議案第 34 号 平成 27 年度幌加内町奨学資金特別会計予算について討論ありませんか。
（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

それでは、これから議案ごとに順次採決を行います。この採決は、挙手により行います。
まず、議案第 27 号 平成 27 年度幌加内町一般会計予算の件を採決いたします。
本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（齋藤雅文君） 挙手多数。

したがって、議案第 27 号は原案のとおり可決すべきと決定しました。
次に、議案第 28 号 平成 27 年度幌加内町国民健康保険特別会計予算の件を採決いたします。
本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（齋藤雅文君） 挙手多数。

したがって、議案第 28 号は原案のとおり可決すべきと決定しました。
次に、議案第 29 号 平成 27 年度幌加内町後期高齢者医療特別会計予算の件を採決いたします。
本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（齋藤雅文君） 挙手多数。

したがって、議案第 29 号は原案のとおり可決すべきと決定しました。
次に、議案第 30 号 平成 27 年度幌加内町介護保険特別会計予算の件を採決いたします。
本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（齋藤雅文君） 挙手多数。

したがって、議案第30号は原案のとおり可決すべきと決定しました。

次に、議案第31号 平成27年度幌加内町国民健康保険病院事業会計予算の件を採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（齋藤雅文君） 挙手多数。

したがって、議案第31号は原案のとおり可決すべきと決定しました。

次に、議案第32号 平成27年度幌加内町簡易水道事業特別会計予算の件を採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（齋藤雅文君） 挙手多数。

したがって、議案第32号は原案のとおり可決すべきと決定しました。

次に、議案第33号 平成27年度幌加内町下水道事業特別会計予算の件を採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（齋藤雅文君） 挙手多数。

したがって、議案第33号は原案のとおり可決すべきと決定しました。

次に、議案第34号 平成27年度幌加内町奨学資金特別会計予算の件を採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（齋藤雅文君） 挙手多数。

したがって、議案第34号は原案のとおり可決すべきと決定しました。

以上をもちまして本委員会に付託された議案第27号から議案第34号までの平成27年度各会計予算の審査は全部終了いたしました。

なお、議長への審査結果報告文につきましては、委員長に一任願います。

ご挨拶を申し上げます。本委員会は、3月5日の本会議で付託された平成27年度の一般会計外全8件の予算を慎重に、かつ精力的に審査をし、本日をもって審査を終了できました。このことは委員、説明員各位のご協力によるものでありまして、厚くお礼を申し上げます。予算審査特別委員会としての役割はこれをもって終了となりますが、議決した予算については議会としての責任も大変大きいものがあります。これが期待する行政効果を上げて町民福祉につなげていけるよう、今後の議会活動に向けて委員皆様のさらなるご活躍をご期待し、閉会のご挨拶といたします。

◎閉会の宣告

- 委員長（齋藤雅文君） これをもちまして予算審査特別委員会を閉会いたします。
大変ご苦労さまでした。ありがとうございました。

閉会 午後 1時47分